

第 2650 地区スローガン
「個性、基本、求心力」

世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第2650地区
2023-24年度 職業奉仕委員会

「決議 23-34」 100 年目の真実

— 一つの大きな誤解を解き、その意義を再確認する —

Rotary District 2650

1

「決議 23-34」 完全撤廃の動きに断固反対

……1988 年 RI 理事会

…その後も RI 理事会の撤回決意は変わらず、…… 理事会は完全撤廃方針を決議し、当時のシンガポール規定審議会（1988 年）に理事会提案となったが、千玄室理事の努力で、これを取り下げることになった。

千玄室バストガバナー（京都 RC）
1923(大正12)年 4月生まれ
1988～1990年 RI理事

Rotary District 2650 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

2

2022年 手続要覧

四つのテスト

決議 23-34

Rotary District 2650 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

3

2022年 手続要覧

1 ロータリーの基本理念

……

国際ロータリーの理想

……

五大奉仕部門

……

Rotary District 2650 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

4

《「決議 23-34」は何故重要なのか》

① 「決議 23-34」はロータリーの奉仕理念 (Ideal of Service) を確定した唯一の公式ドキュメント

「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕 — “超私の奉仕” の哲学であり、これは、“最もよく奉仕する者、最も多く報いられる” という実践的な倫理原則に基づくものである。」

Service above self :
他人のことを思いやり、他人のために尽くそう …対社会的、人道的奉仕活動の理念

One profits most who serves best :
科学的かつ道徳的な経営方針によって、自分の事業や同業者の事業の発展を図ると共に、業界全体のモラルを高めていこう …職業奉仕の理念

Rotary District 2650 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

5

《「決議 23-34」は何故重要なのか》

② 「決議 23-34」はロータリーにおけるすべての活動の指針であり、すべての活動をコントロールする規範となる公式ドキュメント

1923年6月 セントルイス国際大会での決議委員会による提案時の表題：
“Resolution No.34, To reaffirm the policy of Rotary toward objective activities and to formulate certain principles for the future guidance of Rotary International and of Rotary Clubs”
Offered by the Resolutions Committee:

「綱領に基づく諸活動に対するロータリーの方針を再確認し、国際ロータリーとロータリークラブにおける今後の手引きとなる原則を定めること」

→ 四大奉仕すべての指針となるドキュメント

Rotary District 2650 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

6

《「決議 23-34」はなぜ生まれたか》

シカゴロータリークラブ定款 1906年

1. 会員の事業上の利益の促進
2. 通常、社交クラブに付随する良き親睦とその他の特に必要と思われる事項の推進

初期の目的

- 親睦
- 物質的相互扶助

Rotary District 2650 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

7

《「決議 23-34」はなぜ生まれたか》

殺伐とした大都会の中でお互いに胸襟を開いて、どんなことでも語り合える友人をつくる。


会員の事業の発展
Back Scratching の世界
(会員の職場訪問、会員同士の物質的相互扶助 …会員同士の原価取引が原則)

Rotary District 2650 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

8

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

対社会的な奉仕概念の導入
(ドナルド・カーター事件 1906.4)



ドナルド・カーター

利己的な組織には永続性がない。ロータリークラブとして生き残り、発展することを望むならば、我々の存在を正当化するために何とかなしなければならない
…と云ってシカゴRC入会を拒否 → クラブ定款改定を条件にカーターは入会

会員同士の物質的相互扶助

↓


社会に対する奉仕活動

Rotary District 2620 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

9

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

市内に2箇所の公衆トイレを設置
(シカゴクラブ初の対社会的奉仕活動)




公衆トイレ設置は市民のニーズに従って市民団体を組織し、行政当局に働きかけて実施にこぎつけたものであり、単に金銭を拠出するだけの団体奉仕活動ではなかった。

Rotary District 2620 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

10

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

経営学に基づく奉仕理念



A.F. シェルドン

黄金律

do unto others
as you would have them
do unto you
あなたが他人からしてもらいたいことを他人に対してすすんで下さい

現代経営学的に表現

He profits most who serves best
最もよく奉仕する者、最も多く報われる

→シカゴクラブ入会によりロータリーでも使用

Rotary District 2620 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

11

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

第1回全米ロータリークラブ連合会 (1910年シカゴ)

"He profits most who serves his fellows best"
(対象をロータリアンに限定)




Rotary District 2620 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

12

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

第2回全米ロータリークラブ連合会 (1911年ポートランド)

"He profits most who serves best"



第1回大会以降、J.ピンカムやJ.ナトソンなどシェルドンスクール卒業生であるロータリアンが各クラブを訪問し、このモットーの真意を説いて回った。

大会宣言として参加者の圧倒的多数の支持を受けて採択された。

Rotary District 2620 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

13

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

アーサー・フレデリック・シェルドン



1868年 ミシガン州バーノン生まれ
ミシガン大学経営学部で販売学専攻

1902年 シェルドン・ビジネススクールを開校

★サービス理念を中核にした販売学を教える

1908年 シカゴロータリークラブ入会

1910年 全米ロータリークラブ連合会
初代 **Business Method 委員会** 委員長就任
(職業奉仕委員会(1927~)の前身)

シェルドンが学んだ経営学

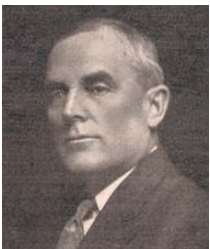
- ★継続的な事業の発展のためには自己の儲けより職業を通じて社会に貢献する意図を持って事業を営む
- ★利益は独占せずに従業員や取引関係者に適正に再配分する

Rotary District 2620 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

14

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

"Service, not self"



フランク・コリンズ

1911年 全米ロータリークラブ連合会における、ミネアポリスクラブ会長のF.コリンズによるスピーチ

真意 (もともとの意味)

- ①利益を得ようとしてロータリーに入会するのは間違いである。
- ②会員間の取引をもっと拡大する必要がある。
- ③会員間だけの取引には限界があるので、その対象を世間一般にも広げる必要がある。

→"He profits..." を一般会員が理解出来る言葉で補完したもの。スピーチの前にシェルドンと調整。

Rotary District 2620 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

15

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

サンフランシスコ国際大会 (1921年)

Service, not self
Service before self
Service above self

これらすべてを廃止し、
"He profits most who serves best" のみを残すという提案 → 否決

※いずれも、対社会的奉仕活動、人道的奉仕活動を示すモットーではなく、
"He profits most who serves best" を補完するものであった。

Rotary District 2620 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

16

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

国際大会（1950年）

[決議 50-11] 2つの標語を国際ロータリーの正式標語とする：
 “He profits most who serves best.”
 “Service Above Self”

国際大会（1989年）

[決議 89-145] “Service Above Self” を第一標語とする：
 この段階から “Service Above Self” が対社会的奉仕活動、人道的奉仕活動を示す標語として理解されるようになった。

《現在》

Ideal of service (奉仕理念) の真意と同義語 —— 他人のことを思いやり、他人のためにつくす —— と考えられている。

「個性、基本、求心力」

Rotary District 2602 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

17

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

対社会的奉仕活動の活発化（1921年頃）

シェルドンのサービス理念を遵守したロータリアンの事業は順調に発展し、それに伴い対社会的奉仕活動も活発になり、多くの中小クラブが身体障害児への支援事業に乗り出す：

- 1913年 ○シラクエズ・クラブによる肢体不自由児へのリハビリテーション事業
- 1915年 ○トレド・クラブによる肢体不自由児への教育事業
- エリリア・クラブによるオハイオ身体障害児協会の設立
- 1939年 ○エリリア・クラブのエドガー・アレンによる国際身体障害児協会設立

社会的奉仕活動を重視するグループ × 経営学に基づく奉仕理念を信奉するグループ

「個性、基本、求心力」

Rotary District 2602 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

18

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

奉仕活動の実践をめぐる論争：個人奉仕か団体奉仕か、金銭的奉仕の是非は

《理論派》
 ロータリアンの心に（奉仕の心）を形成することがロータリー運動の本質である。

《奉仕実践派》
 （奉仕活動の実践）こそがロータリアンの使命である。

利益の適正配分、職業倫理高揚、自己改善、理念提唱、個人奉仕、人道主義的活動、実践活動、金銭的奉仕、団体奉仕

「個性、基本、求心力」

Rotary District 2602 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

19

「決議 23-34」はなぜ生まれたか

RI 理事会の対応

[決議 22-17] RC による身体障害児対策の推奨

[理事会決定] ロータリアンが身体障害児対策に狂奔することを戒める決定

[決議 23-8] 障害児とその救助活動に従事する国際的組織を支援する全米身体障害児協会の仕事をロータリーが代行し、その費用を援助するために年間1ドルの人頭分担当金を徴収する

[決議 23-29] RI が奉仕活動の実践をクラブに強要することを禁止するシカゴ RC による提案…反対キャンペーン

[決議 23-34] 決議 23-8 と決議 23-29 の双方を撤回する代わりに決議 23-34 を提案（……玉虫色の決着）：
 ①奉仕実践は個人が原則、
 ②クラブが行う奉仕活動はサンプルとして認める。

「個性、基本、求心力」

Rotary District 2602 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

20

「決議 23-34」の表題

To reaffirm the policy of Rotary toward **objective activities** and to formulate certain principles for the future guidance of Rotary International and of Rotary Clubs

綱領に基づく諸活動に対するロータリーの方針を再確認し、国際ロータリーとロータリークラブにおける今後の手引きとなる原則を定めること

※「決議 23-34」はロータリーに於けるすべての活動に適用されるものである →単に社会奉仕だけを対象とするものではない。

「個性、基本、求心力」

Rotary District 2602 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

21

「決議 23-34」の表題

綱領に基づく諸活動 → Community service activities

- 【決議 26-6】（1926年デンバー国際大会）により「決議 23-34」の表題が “Community service activities”（社会的奉仕活動に関する指針）に変更された。
 “Community”：家庭、職場、業界全体、町、国、社会全体を意味する
 “A talking Knowledge of Rotary” ガイ・ガンデカー
 1923年頃（四大奉仕以前）は、ロータリーの諸活動全てを包含していた。
- 四大奉仕の導入（1927年）の際、文中の “Community” という言葉が “Community Service”（community= 狭義の地域社会）という言葉と関連づけられ、現在の表題「社会奉仕に関するロータリーの方針」と変更された。
 →「社会奉仕に関する指針」と間違っ解釈される原因となった

「個性、基本、求心力」

Rotary District 2602 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

22

《決議 23-34 第1項》

ロータリーにとってもっとも大切な奉仕理念を定義している

「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕 —— “超我の奉仕” の哲学であり、これは、“最もよく奉仕する者、最も多く報いられる” という実践的な倫理原則に基づくものである。」

利己的な欲求 ↔ 他人への奉仕

相反する二つの心の葛藤を調和

奉仕哲学 Service above self
 実践理論の原理 One profits most who serves best

「個性、基本、求心力」

Rotary District 2602 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

23

《決議 23-34 第2項》

ロータリークラブの役割

- ①奉仕の理論を団体で学ぶこと
- ②奉仕の実践例を団体で示すこと
- ③奉仕活動の実践を個人で行うこと
- ④ロータリーの奉仕理念と実践を一般の人に受け入れてもらうこと

《決議 23-34 第3項》

RI の役割

- ①奉仕理念の育成と普及
- ②クラブの拡大、援助、管理、情報の相互伝達
- ③クラブ運営と社会奉仕活動の標準化

※どんなクラブのどんな奉仕活動も、それを命じたり禁じたりしてはならない

「個性、基本、求心力」

Rotary District 2602 2023-24年度 地区職業奉仕委員会

24

《決議 23-34 第4項》
ロータリー哲学は実践哲学

単なる理念の提唱ではなく、奉仕するものは行動しなければならない

団体奉仕活動の条件

- 毎年一つの新しいプログラム
- 単年度で終了するもの
- 地域社会が必要とするもの
- クラブ全員の協力が得られるもの

《決議 23-34 第5項》
クラブの自治権

- ①クラブが地域社会に適した奉仕活動を選ぶ絶対的権限を持つ
- ②ロータリーの綱領に違反したりクラブの存続を危うくするような活動は禁止
- ③ RI はクラブが行っている奉仕活動を禁じたり命令することはできない

Rotary
District 2622 2023-24年度
地区職業奉仕委員会

25

《決議 23-34 第6項》
社会奉仕実践の指針

- ①他機関との重複活動の禁止
- ②大規模な奉仕活動は、他に適切な組織が無い場合のみに限ること
- ③宣伝目的の活動は禁止
- ④なるべく既存の機関に協力する形で行うことが望ましいが、必要に応じ、新たに機関を設けてもよい。
- ⑤奉仕活動の実践は個人奉仕を原則とする、クラブが行う団体奉仕活動はサンプルに過ぎない

Rotary
District 2622 2023-24年度
地区職業奉仕委員会

26

《決議 23-34 の危機》

**ビル・サージャント元 RI 副会長とエド・フタ RI 事務総長による
2007年11月開催の RI 理事会に対する提案**

決議 23-34 は、社会奉仕の理念や RI やクラブの方針を必ずしも正確に説明していないように思われる。

ロータリー章典や手続要覧の改訂版からこの声明を削除する。

提案理由：

- 決議 23-34 は、ロータリーがアメリカ中心の組織であって、ロータリアンの大半が小規模な商売人で構成された 1923 年代に作成されたものであり、現在の状況には全く適したものではない。
- 現在のロータリークラブに於ける社会奉仕活動とは合致しない。
- これを厳守しようとする私たちが何も出来なくなってしまう。

Rotary
District 2622 2023-24年度
地区職業奉仕委員会

27

《決議 23-34 の危機、その後》

2008年1月 RI 理事会
 執行委員会推奨された決議案：『手続要覧』に「歴史的文献 (an historical document)」として掲載することが決定。

2009年1月 RI 理事会
 執行委員会よりの提案として、歴史的文献としてではなく、これまで通り『手続要覧』の白ページに掲載されることが決定。

2010年1月 RI 理事会
 「社会奉仕に関する 1923 年の声明」をその重要性の観点から今後のロータリー章典や手続要覧に掲載することが決定。

2010年4月規定審議会
 敦賀 RC 等による「決議 23-34 の第 1 項を奉仕哲学の定義として使用する」(10-182) が圧倒的多数で可決される。

Rotary
District 2622 2023-24年度
地区職業奉仕委員会

28

《参考資料・引用元資料》

- 「決議 23-34 の徹底的解析」 「源流の会」会長 田中毅 PDG (2680 地区、尼崎西 RC)
- 「決議 23-34 歴史的背景と意味」 2018.1 刀根荘兵衛 PDG (2650 地区、敦賀 RC)
- 「ロータリー情報ハンドブック」 2017 年版 ロータリー情報研究会編

ご清聴ありがとうございました
 — Enjoy ROTARY ! —

地区職業委員会では、本パワーポイントのデータをご提供させていただきます。
 自クラブでの卓話や研修会等でご活用ください。
 必要なクラブ様は、ガバナー事務所までお知らせください。

Rotary
District 2622 2023-24年度
地区職業奉仕委員会

29

30